

Title: 迷いながらも一ツ事



池田 燕彦
1984年東京生まれ茨城育ち。
神奈川在住。
自分の写真と音楽に向き合い、「現場」での体験を大切に、大いに悩みながら作品撮影・制作をします。

撮影地は植民地時代に、ある産業で栄えた街。ゆえに現在の大都市・リゾート・地方の街など様々です。

基本記載日付が出来事の日付です。



(▲2ヶ月経過)



(▲4ヶ月経過)



(▲6ヶ月経過)

● 最近のエントリー

- ☑ [卒業にむけて](#)
(2012.12.21)
- ☑ [月日は百代の過客にして...](#)
(2012.12.09)

● アーカイブ

- ☑ [2013年01月](#)
- ☑ [2012年12月](#)
- ☑ [2012年11月](#)
- ☑ [2012年10月](#)
- ☑ [2012年09月](#)
- ☑ [2012年08月](#)
- ☑ [2012年07月](#)
- ☑ [2012年06月](#)
- ☑ [2012年05月](#)
- ☑ [2012年04月](#)
- ☑ [2012年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

- ☑ [\[00\]日本（プロローグ）](#)
[-03/16]
- ☑ [\[01\]韓国](#)
[03/17-03/23]
- ☑ [\[02\]台湾](#)
[03/23-03/30]
- ☑ [\[03\]ベトナム](#)
[03/30-04/15]
- ☑ [\[04\]カンボジア](#)
[04/15-04/29]
- ☑ [\[05\]タイ](#)
[04/29-05/15]
- ☑ [\[06\]マレーシア](#)
[05/15-06/04]
- ☑ [\[06\]マレーシアSC1](#)
[05/26-06/04]
- ☑ [\[07\]シンガポール](#)
[06/04-06/10]
- ☑ [\[07\]マレーシア体験](#)
[06/10-06/14]
- ☑ [\[08\]インド](#)
[06/14-07/06]
- ☑ [\[09\]ネパール](#)
[07/06-07/21]
- ☑ [\[10\]中国](#)
[07/21-08/10]
- ☑ [\[11\]マレーシアSC2](#)
[08/10-08/20]
- ☑ [\[12\]西郷断ベトナム](#)

迷いながらも一ツ事 > 2012年12月 アーカイブ

12.12.21

卒業にむけて

[Tweet](#)

[Check](#)

年内最後のゼミの授業。卒業作品展に向けた検討をしながら作品の写真を見ていると、何年も前のことのように懐かしさすら覚えます。これらの地にいたことがまるで嘘のように、いまでは現実感のない別世界の事だったような気さえます。

オリンパスギャラリーでの割り振りが決まったので、レイアウトと展示作品を決定しました。



4人で開催することもあり、三面約16mを割り当てられました。

自宅を決めてきた作品とレイアウトを先生にお見せして、検討です。



一部サイズを制作可能な最大サイズ(A0の倍)に変更することになりましたが、ほかは持っていた通りでOKが出ました。



- [08/20-08/31]
- [13]高橋彰台湾
- [08/31-09/08]
- [14]西条合徳回
- [09/08-09/13]
- [15]日本・武生《エピソード》
- [09/14-09/22]
- [16]日本《After Story》
- [09/22]
- 撮影
- 機材・技術
- 移動
- 行事
- 訪問記
- 雑記
- 食べ物写真

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE

OLYMPUS
Your Vision, Our Future

OLYMPUS SH-21

RSS 2.0



冬期休暇中にプリントをして休み明けにプリントチェックをしていただきます。

作品制作の方"は"至って順調です・・・

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)
[\[09/22\]](#)
[機材・技術](#)・[雑記](#)

post by 池田 篤彦 | 日時: 2012.12.21 | [パーマリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[遅いながらもノース](#) > 2012年12月 アーカイブ

12.12.09

月日は百代の過客にして・・・

[Tweet](#)

[Check](#)

早いものでスライドショーを終えてから早くも一月が過ぎ、今年も残りを切りました。

授業は、この学校での最終的な作品のまとめとなる卒業作品展に向けた「ゼミ」の授業のほか、「エディトリアルワーク」というゼミとはまた違った視点で、編集という作業について学びながらフィールドワークで撮影した作品を使って一から写真集を作っていく授業、「文章表現演習」という講義と演習を通して最終的には今回の旅の紀行文を書くことを目標にした授業などを通して半年間の旅のまとめをしています。

旅中と帰国後の一連のまとめを通して出来事ではあるが、人生においてこれほどまでに自分自身と向き合うことが出来るという機会は滅多にないということ。恐らくこのフィールドワークに行けなかったならば、自分が生きているこの世界を知覚(認識)したうえで自分がどう生きるのかについて、(客観的にどう写っているかは別として)ここまで深まることはなかったのではないかと思います。

それらを総括する言葉を一つ記すならば、「自分自身を変化させたいと望むならば、まず自分の居る環境(身を置く環境)を変化させ、そして自分自身の日常の行動を変化させ習慣を変えて、総合的に自分を変化させる」ということです。「生活」習慣、「食」習慣、「思考」習慣が変化の中でそれらがドミノ倒しのように連鎖的に、三つ巴となって影響し合って、ある刺激に対する肉体的感覚・精神的感覚(どう感じてどう捉えるか、といった根源的反応)が初めて変化するのたというのが実感です。

授業以外では卒業に向けて新しいプリンターを買い・・・やり過ぎな感もありますが、これまでのプリント枚数から日常的なプリントと卒業での外注費を考え、またデザイン系の味も使うことがあるので・・・準備中です。



出来上がったものを展示を想定して試しにA1+サイズのパネル張りをしてみました。





白塩ビ板2mmに専用スプレー機塗布後水張りし、木材で表面に枠をつけて水張りテープで化粧し、ホパネルのように仕上げました。



ホパネル風ですが塩ビ板なので大判プリントでも湿度や温度による歪みたわみがなく良好です。
学校に持って行って先生方に見ていただきましたが、展示にも問題ないようなので、卒業もすべて自作で行けそうです。

この学校での学生生活も終わりが見える時期になってきました。
なかなかどうして、悪いなとは行きませんが（目下就職活動中）一つ一つ具体的にやっ
ていくがありません。

カテゴリ: [\[16\]日本《After Story》](#)
[\[09/22\]](#)

[・機材・技術・雑記](#)

post by [池田 篤彦](#) | 日時: 2012.12.09 | [バナーリンク](#) | [コメント\(0\)](#) | [トラッキングバック\(0\)](#)